

令和3年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設				検証日	令和4年7月8日
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	志村 裕喜		作成者名 金子 猛
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通				
		代表者	代表取締役 原田 孝典				
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町木賊517番地				
		設置目的	温泉資源の活用を通じて、市民福祉と健康の増進を図るとともに、広く一般の休養のための施設として、温泉資源活用施設を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	7名	開館日時間等	10:00 ~ 19:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)天目山温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2)天目山温泉施設使用料徴収事務に関すること。 (3)天目山温泉施設利用料の徴収事務に関すること。 (4)施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。 (5)その他の日常業務					
自主事業		(1)自社路線バスの活用(ローカル路線の車内にパンフレットやポスターを掲示) (2)自社ネットワークの活用(県外営業所にパンフレットやポスターを掲示) (3)回数券、ポイントカードなどの「ふろの日」、季節ごとのイベントの企画 (4)景観の改善 (5)付帯設備の充実					

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	6,000	6,000	6,000		
	利用料金(温泉利用)収入	17,220	17,804	16,200		
	その他(売店・食堂)収入	19,600	17,509	13,160		
	管理運営経費	40,016	41,190	36,354		
決算	指定管理料	6,000	6,000	6,000		
	利用料金(温泉利用)収入	15,383	12,759	14,063		
	その他(売店・食堂)収入	13,038	11,961	13,143		
	管理運営経費	38,753	32,334	37,462		
収支		-4,331	-1,614	-4,256		
減収補填			807			
施設の稼働状況		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
指標	施設利用者数(人)	33,596	27,860	31,214		
活動結果		自社バスと連携した運営を実施しており、営業所を利用したPR等により継続して実施しているが、新型コロナウイルスの影響により利用者が少なく、減収となっている。まん延防止等重点措置に対する策を講じ、営業努力をしている。令和2年度を上回る実績を計上したが、黒字とはならなかった。				

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	3	・協定書通りに適正に管理運営が行われた。 ・自社ネットワーク、路線バス、県内外の各事業所を使用し宣伝を行い、バス利用者の集客を図った。 ・自主事業も着実に実施し来館者への季節に応じたサービスも展開されている。
(2)施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検を着実に実施している。 ・定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。	
(3)収入支出	2	・令和2年度の利用者数を上回ったが、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少している。 ・世界的な原油高が大きく影響し、経費の主たる部分である燃料費が大幅な上昇となった。	
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)		
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	・自主事業等や宣伝等には積極的に取り組んでいるが、燃料の高騰により支出が大幅に増えている。

ACTION		評価結果に対する今後の対応
当面の課題		・新型コロナウイルス感染に注意して、売り上げを増加させるための計画などを積極的に考えていく。
課題解決への対応		・温泉の特色を積極的にPRすると共に登山などに関連付けたPRを実施する。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
 ・自社のバスと連携した運営で、バスやバス停等を利用してPR等を行っている。引き続き温泉の特色を積極的にPRする中で、登山と関連付けたPRなどを工夫を凝らしていただきたい。
 ・昨年度と比較すると、施設の利用者数の増加に伴い、温泉の利用収入・売店収入ともに増えており、評価できるが、世界的な原油高が影響しており、燃料費が大幅に増加していることもあって、赤字幅は増えている。引き続き、利用者の確保及び経費削減に努めていただきたい。
 ・引き続き、コロナ対策を徹底する中で運営をしていただきたい。